



昭和48年（1973年）生  
1996年早稲田大学教育学部卒業  
1996年凸版印刷株式会社入社  
2001年有限会社丸石製作所入社  
2011年（公社）三浦青年会議所第50代理事長  
2013年三浦市議会議員（一期）  
2015年神奈川県議会議員初当選

所属：建設企業常任委員会  
東京オリンピック・パラリンピック・ラグビーワールドカップ特別委員会  
かながわ自民党青年総局幹事長

MITSUDO

まちは、皆さんの中からつくられます。県政に皆さんの中から届けます。FAX: 046 (876) 8708

三浦への思いやご意見を書いて上記 FAX 番号まで送信下さい！

氏名：

住所：

電話：

石川たくみ事務所

電話：046(888)1310 住所：三浦市初声町下宮田489-11 長嶋第2ビル2階  
FAX：046(876)8708 [f takumi.ishikawa.16](https://www.facebook.com/takumi.ishikawa.16) [@takumixp](https://twitter.com/takumixp)



神奈川県議会議員 石川たくみ活動報告 計議資料

# かけはし

すべては三浦のために

Vol.10  
2017年11月



## 神奈川県議会予算委員会

2017年10月5日

「民間活力を活用した施設等の整備と今後のかながわ労働センターの役割等について」知事に問い合わせました。

私は10月5日開催された神奈川県議会「平成29年第3回定期会 予算委員会」において初めて登壇し、知事に県政課題について問い合わせました。

質疑内容は「民間活力を活用した施設等の整備と今後のかながわ労働センターの役割等について」です。9月に、神奈川県平成30年度の当初予算において、現段階で概ね800億円もの財源不足が見込まれる、との発表がありました。人口減少や社会保障負担の増加を控える神奈川県にとって、財政の健全化、財政負担を軽減するために、企業

経営的視点は欠かせません。

そんな中、川崎市にある県の高津合同庁舎の再整備については、PPP（公民連携）を導入、民間の資金やノウハウを活用することで県費負担実質ゼロを目指す本県初の取組みであり、素晴らしい成功事例と捉えています。もっと民間との連携を導入すべきだ、という視点から提言を交えて質問しました。

私の予算委員会の模様は、10月18日（水）に『テレビ神奈川（TVK 3ch）』で放送されました。

## 県立高校再編・統合で「三浦初声高校」へ

神奈川県教育委員会は、県立高校改革による三浦臨海高校と平塚農業高校初声分校の再編・統合に伴い、2018年度に新たに開校する学校名を「神奈川県立三浦初声高等学校」とする議案を県議会にて上程し、正式決定しました。両校の関係者から広く意見を集め、寄せられた候補から選定したものです。

# 県道 215 号江奈湾付近の道路改良について

第三回定例会 建設企業常任委員会

2017 年 10 月 2 日質疑



## 東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に向けて

東京オリンピック・パラリンピック・ラグビーワールドカップ特別委員会 2017 年 10 月 3 日質疑

一人でも多くの方に、神奈川に来て いただいて、一人でも多くの方に神奈川県産の食を食べていただきたい、そんな思いをこめて「オリンピック・パラリンピックでの食材の調達等について」質問しました。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が行う競争入札で、落札した事業者が提供することになります。落札した事業者は、組織委員会が平成 29 年 3 月に策定した「持続可能性に配慮した調達コード」を遵守して、食材を調達することとされています。調達コードの基準を満たしている県内生産者は、農産物（GAP を取得している）では 4 社、畜産物は現在 0 社、水産物（資源管理に関する計画に基づいて行われる漁業により漁獲された水産物）は計画に参画している漁業経営体数が約 400 で、マグロは基準を満たし、また沿岸漁業の生産量のおよそ 8 割前後が調達の基準を満たしている状況です。

しかしながら、結局実際に食材を提供するのは落札した事業者、サプライヤーであり、「地元神奈川県産」を使っていただくためには、事業者に大会施設において提供できるよう、働きかけていく取り組みも必要です。

そのためには、「持続可能性に配慮した調達コード」の基準を満たす生産者を増やす一方で、調達事業者、サプライヤーにどうやって働きかけていくのかということが大事です。多くの観光客が神奈川県を訪れることがありますので、観光客に対して、近隣の飲食店で県産品を

三浦市内の「県道 215 号江奈湾付近の道路改良について」工事の進捗状況等を質問しました。

県道 215 号（上宮田金田三崎港）は、三浦海岸と三崎港を結ぶ幹線道路で、江奈湾付近には貴重な干潟があり、風光明媚で「関東ふれあいの道」として設定されています。しかしながら、江奈湾付近は道路が屈曲し、見通しが悪く、歩道も整備されていないことから、かつて死亡事故も発生しています。自動車の通行のみならず、歩行者の安全確保が長年の悲願がありました。そこで、その付近の道路について、県が見通しを良くするための工事、いわゆる視距改良に併せて歩道そしてバスペイの整備も進めているところです。

道路管理課長の答弁では、用地買収は残り 2 件の 99%、工事進捗率は 84% で、今年度で山側法面の工事が終了します。残る工事は、歩道及び車道の舗装工事とバス停の整備工事のみとなります。用地買収が順調に進めば、「平成 31 年以内」に完成予定との答弁がありました。

今後は、さらに 215 号線の江奈湾より先、宮川公園から城ヶ島に通じる交差点までが道幅が狭く、歩道もありません。そこで江奈湾付近の整備完了が見えてきたからこそ、防災観光振興の観点から、先の道路の改良整備についても、強く要望をしました。

※バスペイとは、バス専用の停車スペースのことです。



提供していくことができるよう、県として前向きに取り組んでいくよう要望しました。

また、「レースエリア・漁業関係者との調整について」質疑し、来年には、江の島において 9 月 9 ~ 16 日の期間オリンピックに向けたテストイベント（プレ大会）も兼ねた「セーリングワールドカップ」が開催されることが決まり、開催まで 1 年を切りました。

しかしながら、いまだにレースエリアや詳細日程が決まっておらず、漁業関係者や湘南港利用者の不安は解消されていません。最終的な決定は組織委員会となりますので、一刻も早く具体的な内容が出てくるよう、県にはしっかりと調整役を果たすことを要望しました。

## 神奈川県議会の自民党県議団による「水産業を振興する議員の会」視察

### 三浦市を訪れ漁港や水産関連施設などの視察

神奈川県議会の自民党県議団による「水産業を振興する議員の会」メンバー約 20 人が 7 月 7 日に三浦市を訪れ、漁港や水産関連施設などの視察を行いました。

漁業就業者の減少、漁業協同組合の経営悪化、漁場環境の悪化、水産資源の減少など県内の水産業をとりまく課題の解決に向けて活動する同会。三崎魚市場では、関係者から三崎漁港の紹介や現在建設中のマグロ専用冷凍市場をはじめとする高度衛生管理施設、二町谷埋立地の概要に関する説明を受け、県市の担当部局や市場業者との意見交換を行いました。

その後、買い物客でにぎわう産直センター「うらりマルシェ」やブランドサバとして知られる「松輪サバ」の水揚げ風景を間口漁港で見学したほか、城ヶ島にある神奈川県水産技術センターを訪問。磯を荒らす厄介者・ムラサキウニに三浦産キャベツの残渣を与え、実入りのいい食用



ウニを育てる研究などについて理解を深めました。

私も同会メンバーの役員として、三浦の水産業が一步でも前進するよう、これからも積極的に取り組んでまいります。

## 三浦市の災害対策について

2017 年 9 月 28 日の豪雨及び 2017 年 10 月 22 日の台風 21 号

### 【9 月 28 日猛烈な豪雨による冠水被害等について】

三浦市では 9 月 28 日朝、前線を伴った低気圧の影響で午前 5 時 40 分までの 1 時間で観測史上最多の 87 ミリの猛烈な雨を観測しました。国道 134 号は初声町入江付近で約 50 メートルにわたって冠水し、通行止めとなり他 3 件の道路冠水がありました。初声小・中学校は臨時休校となります。

市の集計では、住宅や店舗など 28 棟が床上浸水、18 棟が床下浸水し、土砂崩れが 36 力所、土砂流出や集積が 71 件（三浦市防災課調べ）も発生しました。神奈川県、三浦市において治水や排水等でどのような対策ができるのか、早急な対応が求められます。流域に水が集中する一番川等の下水の再整備やその上流での治水整備等も考えなければなりません。



世帯が停電となり、一部信号機も機能せず、交通機関も大きく乱されました。

高潮と高波が襲って、沿岸部を中心に、城ヶ島等では店舗や倉庫数棟が大破、各漁港や造船所、農地等大きな被害を受けました。建物被害（損壊・床上浸水等）46 件、冠水・越波 14 件、土砂崩れ 5 件、土砂流出・堆積 4 件となっています。台風後のごみ処理等苦慮しており、関係機関が協力して復旧対応に当たっています。

## 神奈川県議会第三回定例会 石川たくみの「一般質問」 日程が決まりました!

12月7日（木）16:00 開催予定。

「神奈川県議会一般質問傍聴ツアー」を実施します!  
申込・詳細は下記電話番号にて受付いたします。

石川たくみ事務所：046(888)1310

質問内容は、三崎マグロや三浦野菜の活性化等についてを黒岩知事に問います。

